議会だより

中能登町議会

とびら

第 22 号

2020. 2

1 月８日の書き初め

【主な内容】

・第３回　子ども議会　　2、3ページ
・議会報告会　開催　　4ページ
・庁舎統合建設特別委員会　　5ページ

～輝く未来を拓こう！　きみたちの手で！！～

生徒たちの感想

★町の事について、いろいろ考えていきたい。

★女性議員が二人という少なさに驚き、改善の必要を強く感じた。

★大人になり、町に戻り、町に貢献できればいいな。

★身近に議会を感じることができた。

★すごい緊張した。あんな重い雰囲気の中でやっている議員の方はすごいと思った。

★授業で勉強した議会へより理解が深まった。

★議員の仕事に関心を持った。

後日、子ども達から、感想文が届きました。「子ども議会」を通し中能登町へ、そして自分たちの将来へ思いを馳せた感想でした。持続可能な社会をめざし、若い世代が、しっかり政治に関心を持てるよう中能登町議会としても、取り組んで参ります!!

2019年７月の参議院選挙・10代の投票率

	中能登町	全国
18歳	45.12%	34.68%
19歳	30.77%	28.05%
（全世代）	（56.07%）	（48.80%）

第３回中能登町子ども議会　12月11日

中能登中学校３年生の代表の皆さんが
議員への質問、学習発表を元気一杯に行いました。
（在校の中学生 161 名もテレビ中継で参加）

生徒たちからの質問

■なぜ議員になろうと思ったのですか？

■町の大事なことを決めるのは全員一致？それとも多数決ですか？

■議員の生活は、毎日どんな事をしているのですか？

■給料はもらっているのですか？どこから、いくら支払われるのですか？

■消費税が10％に！私たちが払う税金は町のどんな事に役立っているのですか？

議会報告会

小竹地区

11月24日午前10時　20人参加
ふれあい交流館　喜楽館

開催しています。まずは、地域で問題意識を高めて頂き、その地域の問題解決に向けての支援を要望して下さい。

質問 **旧159号を追い越し禁止措置にできないか**

議員　回答　鹿島バイパスができ、交通量等の関係で追い越し禁止区域から外れ、再度加えることは難しいことです。駐在所を通じて、違反者へのパトロールの強化を図ります。さらに①中央白線の引き直し②注意喚起の看板設置をします。また交通課からは、できれば街頭指導をお願いしたいとのことです。

質問 **集落活性化の支援をしてほしい**

議員　回答　町では移住定住を積極的に推進しています。（定住促進奨励金、空き家バンク、UJIターンへの商品券交付等）また、東馬場地区では、数年前から集落の将来を考える座談会を

その他の主な質問

ごみステーションへの水道の引込み工事費や維持費／喜楽館の使用期限／町祭の見直し／通年議会について／庁舎問題の現状／バイオの恵みの悪臭

能登部上区

1月29日午後6時30分
上区会館　80人参加

みの間に議員各自が支持者や町民の意見を集約してから次回の委員会を開く」こととなりました。

質問 **空き家を有効活用し移住定住へのサポートをしてはどうか**

議員　回答　町では平成28年時点で923件の空き家が確認されています。そのため、空き家バンク登録を推進しています。平成20年から現在まで空き家バンクには84件が登録され、35件が売買、又は賃貸として成約しています。区で斡旋し成約すると最大10万円の奨励金が出るため、是非、空き家バンク登録を推進していただきたいです。

質問 **庁舎問題の現状について**

議員　回答　12月26日に開催された委員会では執行部より新たに旧鹿西中の2、3階も使用する案が提示され、税抜き11億円との試算でした。議員からは、費用をもう少し抑えられないか、との意見もあり委員長からは「正月休

その他の主な質問

強風被害対策について／水質に関して

庁舎統合建設特別委員会報告

旧鹿西中の改修費 再提示!!

12月26日に開催された特別委員会では新庁舎として活用する旧鹿西中学校の改修に約12億円かかることが示された。住民の利便性向上のため鳥屋庁舎から税務課と会計課を移転する方針も明らかになった。

庁舎再編を巡っては、町執行部が鹿島、鹿西庁舎を廃止し旧鹿西中学校を改修した新庁舎に機能を集約し、鳥屋庁舎、ラピア鹿島も継続して使う案を示し、６月の特別委員会で実施設計が承認された。

12月26日実施設計の説明を聞きながら旧鹿西中学校を視察

そのような中、９月に越路地区区長会から

１．分庁舎案が進められていると聞くが、統合庁舎を建設して頂きたい。

２．もしも緊急避難措置として分庁舎方式になった場合には、今現在の鹿島庁舎にある土木建設課、農林課、上下水道課、情報推進課をラピア鹿島内に配置して頂きたい。

との要望があった。

これに対し、執行部からは

鹿島庁舎の４つの課である土木建設課、農林課、上下水道課、情報推進課をラピア鹿島に入れると、ラピア鹿島自体の機能、生涯学習施設としての機能がなくなってしまうことから、検討はしたが実現はできない状況であるとの回答であった。

当初は旧鹿西中学校の1階部分のみ使用する計画であったが、提示された案では、１階に鹿西庁舎の住民福祉課や保健環境課、２階に鹿島庁舎の農林課や土木建設課、上下水道課が移転、３階に会議室を設ける予定とのことだった。

できるだけ統合庁舎に近い形にしようと、鳥屋庁舎内に配置してある住民サービスに近い税務課と会計課などを移動させたために２階、３階も使うようになったとの説明を受けた。

昨年５月の段階では、改修費用が税抜きで約7.7億円、新たに提示された２階３階も使用する案は税抜きで約11億円との試算である。

委員会では、金額が急に跳ね上がったという意見や、もう少し費用を抑えられないかなどの意見があった。

委員会開催日は12月26日であったため、委員長から「これから正月休みであり、それぞれに支持者や地域の皆さんの意見を聞いてから、次回の委員会を開く」ことになった。

Q 削減率６％の設定で年間 約1,100万円の削減となる試算であるがこれは目標値か、それとも標準的な値か。
包括的民間委託をすることで、職員数の削減、下水道料金の値上げはあるのか。

A 全国的には削減率で平均10% 程度といわれているが、初めての導入でもあることから、試算が難しく、業務期間の３年間を通して、業務内容の検証や評価を行い、今後の効率的な業務につなげていきたい。
職員の事務量が一部 軽減されるが、職員数の削減につながるものではなく、また、料金については、現在、審議会を開いて適正な料金改定となるよう審議を行っている。
（担当課：上下水道課）

債務負担行為

下水道処理施設維持管理業務委託限度額
4億９千600万円

Q ID(アイ・ディー)設定の支援コーナー開設についての詳細説明を求める。

A ３庁舎でマイナポイント予約（マイキー ID設定）支援ブースを３月31日までの予定で設置している。時間は９:30 ～ 12:00、13:00 ～ 16:30の平日（祝日、振替休日は除く）詳細は町広報２月号でお知らせする。　（担当課：企画課）

個人番号カード利用環境整備事業

臨時雇賃金
175万８千円
の増額補正

Q 全部で当初より人数が７名も少ないが、人数は充足されているのか。

A 園長、副園長が補填的な役割を果たしている状況で、働いて頂ける方を探しているが、確保することが難しい現状である。　（担当課：住民福祉課）

保育園運営費

臨時雇、嘱託職員賃金
1591万４千円
減額補正

Q 料金徴収の条例改正であるならば、利用者への周知期間が短いのではないか。
子育て支援という観点など、経済的な負担を強いられている方の利用に対しては、どう考えているのか。

A 利用される方には、丁寧に説明をして理解を求めていく。
町事業の子育て支援であれば、料金の徴収は考えておらず、個別に案件があれば、その都度、相談・協議をして決めていく。　（担当課：農林課）

農村環境改善センター条例の一部を改正する

施設の管理運営を見直し、施設使用料を徴収する

配食サービス　４月から利用者負担が変更！

「食」の自立支援事業：配食サービスが４月１日から１食あたり200円増額されます。

現　行　１食あたり　1,050円【内訳　町負担　750円、利用者負担　300円】
↓
改正後　１食あたり　1,250円【内訳　町負担　750円、利用者負担　500円】

平成12年以降据え置きとなっており、その間、食材単価の値上がりや調理・配達に必要な光熱水費、燃料費、人件費のコスト増加、消費税の改定もあったため今回見直しを行うものです。

配食を通じて見守りを行います

一人暮らし高齢者等に昼食を配達し、栄養改善を図るとともに見守りを行います。
【対象者】（下記のどちらかが該当する方）
・疾病等があり栄養改善、見守りが必要な方
・65歳以上のみの世帯であり調理困難な方
（原則、64歳以下の同居親族及び同居人がいる場合、又は自分で食材を調達できる場合は不可）

12月定例会議　採決の結果

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案成立の可否が決定します。

討　論　議案第36号、議案第37号について

反対します

土本議員

両議案は、特別職及び議員の期末手当を増額する条例であります。

町行政の運営にあたり、時には影・日向になり、支えている会計年度任用職員(*1)及び包括業務委託している17業務(*2)に従事している方々の、賃金の改正・改定などの待遇改善を両議案より優先すべきであります。

(*1)会計年度任用職員とは、嘱託職員や臨時職員　(例）保育士etc
(*2)包括業務委託17業務とは、スクールバス運転手や給食調理員、児童館職員etc

定例監査報告　監査期間　令和元年10月23日、24日、25日、28日

1 監査の方法　提出された書類等が関係法令や条例等に基づき処理されているか、計数は正確か、事務の執行は適正かつ効率的に行われているかを検証するため、証書類との照合確認を行ったほか、担当課から説明を求めるなどの方法により実施した。

2 監査の結果　監査の対象となった部局における事務の執行等については、概ね適正に処理されているものと認められた。事務処理上、留意すべき軽微なものについては、その都度口頭で指摘等をした。

3 主な指摘事項については次のとおり

① 滞納整理について・・・町税の滞納整理について、昨年度より分納・差押え件数は増加している。引き続き、滞納整理機構と連携を図り、より一層、積極的な滞納整理の強化に努められたい。

② その他･･･鹿島庁舎と鹿西庁舎においては､夜間はセキュリティの関係上､鍵当番制で庁舎管理を行っているが、その庁舎管理日誌において、最終退庁者の氏名及び時間の記入事項を設け運用されたい。

石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合議会からの報告

令和元年11月25日(月)

報告者　坂井幸雄

【議案第２号】

○令和元年度石川北部RDF広域処理組合　一般会計補正予算（第1号）

・歳入歳出予算の総額にそれぞれ5203万8,000円を追加し、予算総額を10億4,283万8,000円とする。

・平成30年度で生じた決算剰余金を財政調整基金に積み立てる。

原案どおり可決される。

全議員が賛成して可決された主な議案　（議長は、採決には加わりません。）

結果	町　長　提　出　議　案
可決	議案第33号　中能登町社会教育施設条例の制定について 内容 複数ある社会教育施設関係条例の集約を図るとともに、完全休館日の設定、利用時間の細分化、使用料等について定めるもの
可決	議案第39号　中能登町体育施設条例の一部を改正する条例について 内容 体育施設の利用時間の細分化及び使用料等について改正を行うもの
可決	議案第47 号　令和元年度中能登町分譲宅地造成事業特別会計補正予算 内容 分譲宅地「ゆりが丘」の１区画について、返還の申し出があったため、償還金457万５千円を増額するもの
結果	**議　会　提　出　議　案**
可決	議員派遣について

賛否が分かれた議案

○：賛成　×：反対　欠：欠席　退：退席　除：除斥

結果可否	議案名＼議員名	古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎
	町　長　提　出　議　案										
可決	議案第36号　中能登町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について 内容 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、議会議員の期末手当の支給月数を年間０．０５ヵ月分引き上げる改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第37号　中能登町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 内容 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、常勤の特別職の職員の期末手当の支給月数を年間0.05 ヵ月分引き上げる改正	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

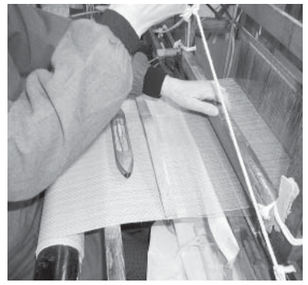
10名の議員が登壇し質問する

問 能登上布の振興を図れ
答 町としても後継者育成に取り組む

諏訪　良一　議員

【諏訪】 産業構造の転換、麻糸不足や織子が育たない等は、能登上布が始まって以来、２００年以上続く課題だが、それらを踏まえ3点で伺う。①組織運営の強靭化②次世代後継者の育成③ワクドキ能登上布ツアー

【町長】 ①平成22年7月から能登上布会館の運営を、能登上布振興協議会に指定管理者として業務委託している。主な業務内容は、技術の継承、反物や着物づくり、商品開発、施設や織り機の管理、機織り体験や開放講座の開催等、多岐にわたった普及活動にも努めていただいている。②普及や継承にご尽力いただいているが、伝承者の高齢化に伴い後継者不足が重要な課題となりつつある。先人から受け継がれてきた能登上布の灯を絶やさないためにも、町としても後継者育成に取り組む。③平成29年11月に能登上布一日織姫体験ツアーと題して、「一日能登上布体験」等が企画された。今年度から鹿西高校一年生の探究の時間と連携して、中能登町夢の観光ツアーを生徒が企画している。約26種類の企画がプレゼンされ能登上布ツアーも盛り込まれると聞いており楽しみにしている。



【能登上布】

その他質問▼森林環境譲与税の活用方策

問 第一期総合創生戦略の総括を示せ
答 繊維産業活性化への足掛かりを作った

古玉いづみ　議員

【古玉】 まち・ひと・しごと総合創生戦略について3点で伺う。①まちづくりにおいての総括②カルチャーセンター飛翔の有効活用と商工会統合の考え③災害に強いまちづくり。

【町長】 ①これまでの取り組みとして、分譲宅地造成や出産祝金、創業支援等と共に人口減少の原因分析を行い、基盤産業の弱体化改善を目的として繊維を主とした横断的なプロジェクトを実施し、繊維の活性化に繋がるよう先進的に取り組んできている。②今現在、多くの方が利用されており、特に考えていない。③「道の駅」織姫の里なかのとを防災拠点として整備してきた。日頃から災害に対する備えが重要だと考える。

【古玉】 ②カルチャーセンターに隣接する上布会館、商工会のデザインセンターと共に、繊維産業の発信地として有効活用する考えは③１０００年に一度の豪雨で鳥屋庁舎が冠水する。行政機能も失う可能性があるがどう考えるか。

【町長】 ②商工会から提言があれば相談にのる。③各施設の見直しを行い新防災マップを作成する。

その他質問▼子育て環境と女性活躍のまちづくり

中能登町の開発した繊維スポーツ

問 特養への入所待機者の見通しを示せ
答 介護保険サービスで負担を軽減

南　昭榮　議員

【南】 ①現在、特別養護老人ホームへの入所を希望されている介護施設（町内外）及び在宅介護の待機者の詳しい実態を伺う。②待機者に対する今後の見通しを示せ。

【町長】 ①特養への待機者状況は11月15日現在で98人となっている。②空きが出た場合、迅速に新入居者を決定し円滑運営を図ることは勿論だが、特に在宅待機の介護者には入居までの間、介護保険サービスや在宅福祉サービス等により、介護負担の軽減に努めたいと考えている。

【長寿介護課長】 ①待機者98人の内訳は、在宅44人、入院中25人、老人保健施設入居中19人、グループホーム入居中8人、町外の特養入居中2人となっている。年間の待機者状況ですが、新規申込みは60人程あるが、施設への入居や亡くなる方などで60人位になるため、年間を通して90～100人程になっている。入居は申込み順ではなく必要性が高い方からとし、県の入居指針に基づき、要介護度、介護者の状況、認知度、障がい等を点数化し、総合的に勘案のうえ、入居の順位が決定する。

その他質問▼有害鳥獣の処理施設概要計画

問 教職員の多忙化改善を
答 業務を整理し見直す

土本　稔　議員

【土本】 昔は子供の人数も多ければ、学校設備も今ほど良くなかった。これだけ恵まれた環境下にある現在の学校現場と20年前の学校現場との違いは何か。

【教育長】 今の学校には、次世代を生き抜く力の育成が求められている。情報化やグローバル化の加速度的進化、ＡＩの飛躍的進化など急激に社会全体が変化しているが、それがそのまま学校現場にも求められている。更には、子供たちに向き合うことに対する沢山の要求があることも事実だ。

【土本】 最近、自分の責任より他者の責任を追及したがる風潮を感じるが、その影響が学校現場に現れているのではないか。「いじめ」などの問題が発生した場合、学校評価や教職員の評価に繋げるのではなく、きちんと誠意ある対応をしたかが問われる。その場合、学校だけで抱えず教育委員会を中心に、町全体でサポートしていくべきだ。教職員の多忙化が社会問題となり、ブラック企業的な印象がつき、最終的に「なりたくない職業」になってしまっては、本当の意味で日本の不幸だと思う。

その他質問▼千年に一度の豪雨

問 パークゴルフ場の使用料見直しを求める

答 今回は据え置きとしたい

甲部　昭夫　議員

【甲部】①パークゴルフ場の使用料見直し②水道施設増設

【町長】①12月定例会議において、中能登町公園条例の制定及び体育施設条例の一部を改正する条例案を提出したが、パークゴルフ場は平成26年度の開設以来、町民の健康増進の観点から町内外で使用料を区分して徴収しており、見直しは据え置きとしたい。今後は、町外、県外の方に中能登町へお越しいただき会員を増やすことで町民愛好者との交流及び競技力向上にも繋がると考え、12カ月定期券以外の定期券発行も検討したい。②熱中症対策としてのコース内の水道施設増設については、猛暑時の自己管理の周知徹底を図りたいと考えるが、増設に向けてパークゴルフ協会と協議したい。

【甲部】管理棟前の駐車場と入口の農道に、わだち等で補修の必要が生じている。砂利を入れることはできないか。

【町長】材料だけと言われるので材料は入れるが、その後の管理はパークゴルフ場の方で行っていただきたい。

問 緊縮財政へ向けた来年度予算編成を問う

答 厳しい財政状況の下持続可能な町を目指す

林　真弥　議員

【林】昨今、執行部からは財政見通しにより、緊縮財政へのかじ切りという内容の言葉をよく聞く。それを中心に来年度予算編成について3点で問う。

①令和2年度予算編成で最重要課題と位置付ける事は何か

②当町の当初予算の適正額の認識

③来年度以降の予算編成に向けて、町民各位にお伝えすべきことは何か。

【町長】①持続可能な町づくりに向け厳しい財政状況の下、町民負担に配慮し事業の見直しを行う。②国・県の施策により増減するため、金額ではなく、事業内容で判断すべきと認識する。③現在、予算編成中であり、予算内示会や町広報等でお知らせしていく。

【林】町運営に攻めも守りも必要だ。合併後、攻め優勢だったと思うが、今後は攻めではないのか。

【総務課長】各種団体が運営から財源確保まで積極的に行うなど、攻めの本質が変わってきている。今後は町民主体となった行政運営を更に加速させたい。

【林】緊縮財政へ向け、攻め守りを明確に出した町運営をすべき。

その他質問▼将来的な中学校の空き教室について

問 豪雨災害に強い町を目指せ

答 国・県と共に治水機能を高める

坂井　幸雄　議員

【坂井】豪雨災害対策として、二宮川の掘削や改修の推進を国や県に要望すべきと考える。特に、JR七尾線と交差する所に問題ありと思うが、現状と今後の見通しについて伺う。

【町長】二宮川の改修状況は、河川改修事業やほ場整備事業に併せて、主に下流地域で進めてきた。能登二宮駅付近から在江地内の石塚川合流地点までは天井川でもあることから、能登総合開発促進協議会や県町長会を通じ県へ継続的に要望している。今後も町民の安全で安心な生活を守るため、引き続き国・県へ粘り強く要望したいと考えている。

【坂井】災害時、避難所に集まる場合、高齢者や身障者の対象者をどこまで把握しているのか伺う。

【町長】平成25年に災害対策基本法が改正され、市町村において避難行動要支援者名簿作成が義務付けられている。災害時の支援を地域内で受けられるよう、必要な情報を事前に把握し、それを町と地域が平常時から共有することが重要であると考え、地域で安心して暮らせる体制の整備に努める。

その他質問▼AEDの配備と取り扱い研修

昭和60年６月越水状態の二宮川
（能登二宮駅付近）

問 石動山再興に向け石動山文学賞を制定せよ

答 関係団体と相談しながら研究課題としたい

尾田　良一　議員

【尾田】石動山再興と観光客誘致に関して、国定公園であり国指定遺跡でもある石動山を利用しない手はない。これこそ宝の持ち腐れだ。以前は石動山への愛着はもっと大きかったように思うが、石動山への意気込みの一つとして、石動山文学賞制定を提案する。企業誘致も大切だが、広く観光客を呼び込むためのセールスポイントになるのではないか。否定的な考えは町のマイナスになると考えるが、町長の見解を伺う。

【町長】山岳信仰の霊山として歴史ある石動山は、昭和53年に国史跡に指定され、様々な事業やイベントが展開されてきた。町としても、中能登町が誇る歴史遺産を後世に伝えていくためにも、引き続き関係団体と連携しながら魅力発信に努めたい。文学賞については、関係団体と相談のうえ研究課題としたい。

【尾田】各種活動には受動的な点があり、実を結んでいない一面を感じる。歴史ある町には、掘り起こせば奇想天外な発想も出てくると考えるが町長の見解を伺う。

【町長】奇想天外的発想は大事だが、地道な活動も大切だと思っている。

その他質問▼民生委員の選考

伊須流岐比古神社　拝殿

問 農福連携を推進せよ！
答 関係各課で取り組む

笹川　広美 議員

【笹川】農業の担い手確保と障がい者の就労支援に繋がる農福連携について①当町の現状②ノウフクJASの積極的な情報提供で拡大を図るべきではないか③就労を後押しする事業、担当部門等を設け推進すべきではないか、今後の町の考え方を伺う。

【町長】③関係各課が連携し、農福連携に取り組みたい。

【農林課長】①社会福祉法人つばさの会が、水稲等の自然栽培農家と取り組んでいる。また大規模農家の育苗・収穫・ハウス設営等にも取り組んでいる。②ノウフクJASは障がい者が主体的に携わり生産した農林水産物やそれらを原材料とした加工食品について規格化したもの。相談があれば、情報提供していく。

【笹川】①つばさの会へ、活動の展開に向けた拠点づくりへの支援はできないか③バリアフリー観光での農福連携の推進を伺う。

【町長】①連携を取っていきたい。

【企画課長】③障害攻略課プロジェクトとして、研究課題としたい。

その他の質問▼フレイル健診の対応▼地方創生への取り組み

いまい農場での苗出し

問 記録的豪雨に対する上下水道施設の備えは
答 完全に施設が停止することはない

作間　七郎 議員

【作間】記録的豪雨に対する上下水道設備の現状と備えについて。
1点目は、浸水の恐れがある上下水道施設があるのか。
2点目は、浸水した場合はどの様な状況になるのか。
3点目は、記録的豪雨に対する考えは。

【町長】県が公表した記録的豪雨時の二宮川の洪水浸水想定区域図によると、水道施設では6箇所の水源のうち、4箇所が50㎝前後の浸水になり、下水道施設では7箇所の処理施設のうち、4箇所が50㎝未満の浸水となる。
浸水した場合でも、水道では、浸水想定区域から外れている2箇所の水源と県水により通常どおりの給水が可能であり、旧町をつなぐ連絡管を利用して不足する水量を補うことができる。下水道では、地下にある設備は一部停止する部分もあるが、施設を制御する電気室は浸水しないため、施設全体が完全に停止することはない。
今年の台風被害を踏まえ、これまで経験したことがない自然災害への対応について、早急に検討するよう各課に指示した。

【作間】手取川ダムを水源とした県水は、鹿西町時代に責任水量を受け入れることになっており、中能登町は春木、在江、県水の3箇所の水源で潤っており、万が一のため地元の水源がだめになっても県水の受水槽を120~130メートルの高地に作っておけば中能登町全体に行き渡ることになり、町民が安定した水の供給を受けることができる。

【町長】せっかくの意見でございますので、検討させていただきます。

第3水源（大槻）

教育民生常任委員会

町の文化、体育施設が４月から新料金に！

①社会教育施設においては利用時間を1時間単位に変更し、完全休館日を設定、また冷暖房費は施設使用料の4割を徴収、など新たに定められます。
（例）ふるさと創修館の研修室：１時間あたり一般400円（町民200円）
冷暖房費400円（200円）x 40% = 160円（80円）
②体育施設において町民利用の有料化・電気設備使用料も新たに設定されます。
（例）テニスコートとりや：１時間あたり　一般　600円（町民300円）
高校生以下 200円（町民100円）
ナイター照明：１時間あたり１コート　100円

印鑑条例の一部を改正へ

国では、女性の活躍を推進することを目的に、住民票や個人番号カード等に旧氏（きゅうじ）が記載できる法改正を行いました。
これに伴い、町では、住民票等に旧氏を記載した方は「印鑑登録証明書」にも併せて旧氏が記載されるように条例改正を行いました。
また、性的少数者へ配慮し、印鑑登録原票の「男女の別」欄を削除することとしました。

石動山が『いしかわ歴史遺産』認定！

平成27年度に創設されてから県内最後の14件目として「能登山岳信仰の霊場～石動山と山麓の歴史遺産」がいしかわ歴史遺産に認定されました。中能登町が単独で申請したストーリーで、石動山ゆかりの文化財で構成された内容となっています。町に関係するものについては、これまでに４市５町で申請した「能登半島を彩る深紅の花～のとキリシマツツジ古木群」、１市２町で申請した「能登の王墓～半島を舞台に躍動したノトの王～」が認定されています。

教育民生常任委員会視察研修　委員５人参加

令和元年12月19日　視察先　羽咋市議会

オーガニック給食について

平成27年にJAはくいと市が連携して自然栽培支援事業が開始されました。目的は、農家の高齢化やTPPなどの懸念事項に対応できる、付加価値の高い農産物生産です。当初の思惑通りの生産が見込めず、保育園、小学校、中学校へは年間６～８回オーガニック米を給食で提供しています。そのため児童や生徒の学力向上との科学的根拠はないようですが、米づくり体験などを通して食への知識・関心が今後の安心・安全な食の選択へと繋がることを期待しているそうです。当町においても、子供たちにもっと食への関心を高める様な教育を期待したいと思いました。

保育園民営化について

羽咋市での民営化については、15か所あった保育園を７か所に統合し、その内４か所を公設民営で運営しているのが現状です。その結果、一番大きなメリットとして正規職員が大幅に削減され、経費削減に繋がりました。そして、それにより保育料減額へとつながったり、一番懸念していた職員の再任用にあたっても不満はなかったとのことでした。民営の保育園では民間の柔軟な対応もあり、保護者の支援も得ているようです。今後の課題として、再編成時の調整の難しさがあるようです。当町においては、保護者の理解を得ることが一番の課題となるわけですが、他市町の事例やメリット、懸念事項等をしっかりと提示した丁寧な説明が求められるのではないかと思いました。

総務建設常任委員会

令和元年度　農村総合整備事業（条件改善型）新規採択

1．事業の概要

地区からの要望で提出された国庫補助対象の事業案件について、地元担い手への農地集積促進の見通しが図られたことに伴い、今般石川県より団体営事業（中能登町が事業主体）の採択を受けた。

2．事業内容及び事業費

（1）実施地域

高畠・曽祢　地内

（2）令和元年度事業

測量・調査・設計業務・さく井工改修　一式

年度事業費　１８，０００千円

（3）令和2年度事業

用排水路工　２００m、水門新設　1基

年度事業費　１７，０００千円

水門新設

議会運営委員会視察研修　委員４人参加

令和元年11月26日、27日　視察先　長野県飯綱町議会、喬木村議会

議会活性化の取り組みについて

1　長野県喬木村

喬木村では、平成９年に議員定数を18人とし、その後の選挙では無投票が続き、平成17年には定数を12人としたものの、依然、無投票が続いている現状であった。その背景には、人口減少・少子高齢化進行による地域コミュニティの縮小が要因と考えられている。現在、議員の多くが地区推薦で輩出されているとのことだが、これにも限界があり、早急に議員のなり手不足の対策が必要とのことで、議会改革に努めてきたとの話であった。

主な改革内容では、議員のなり手不足の課題から、議員の兼業の緩和、また、その兼業議員のための夜間・休日議会の開催等、議員の働き方改革や議会日程・運営方法の見直し等の環境整備に取り組んでいるものであった。

2　長野県飯綱町

飯綱町では、合併直後に第三セクターの経営破綻により、議会としての議決責任と説明責任が問われ、これを機会に議会改革を推し進めることになった。主な取り組み内容として、追認機関から脱し、町長と切磋琢磨し町政発展の一翼を担うということで、二元代表制を形式的なものから実体あるものにして機能させることとし、その一例として、同一議題に対し、議員の質疑回数３回という制限をなくし、会議規則に基づき、質疑回数を自由にすることで議論の活発化を図っていた。

また、「チーム議会」の政策提言活動を重視し「政策サポーター制度」を新設し、開かれた議会として町民参加を広げ、町民の知恵も借りて政策づくりの協働を図り、最終的に議会として条例づくり等の政策提言を行っている。

（政策サポーターは、延べ58名）この他にも議会の応援団として、「議会だより」モニターが、議員のいない集落から人選される等、述べ177名の方が活躍しており、町としては、町民の多様な意見・要望等を把握する一助となる等、「議会の見える化」の１つの施策として行っていた。

3　全体を通して

今回、喬木村・飯綱町を視察し、議員のなり手不足の課題などを背景として、様々な活性化の取り組みについて話を伺った。これからは議員各位が、議会改革は議員の意識改革であることを再認識し、二元代表制のもと議会の権限と役割、責任というものを確認し合い、今後の議会運営や議会の活性化に努めたいと考える。

議会活動報告　11月から1月までの議会活動

○…出席　　×…欠席　　△…早退・遅刻
－…委員外　　公…公務
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席するとき

さまざまな会議の議員の出欠状況をお知らせします。

月　日	会議名＼議員名	古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	宮下為幸	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎
11月 7日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－
11月11日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	△	△	○
11月15日	総務建設常任委員会	－	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○
11月18日	教育民生常任委員会	○	○	－	○	－	○	－	オ	○	－	－
11月21日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
11月25日	議会運営委員会	－	－	－	○	○	－	－	オ	○	○	○
11月26日~27日	議会運営委員会視察研修	－	－	－	○	○	－	－	－	×	○	○
11月29日	全員協議会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月29日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
12月 5日	12 月定例会議　初日	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
12月 6日	教育民生常任委員会	○	○	－	○	－	○	－	オ	○	－	－
12月 6日	総務建設常任委員会	－	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○
12月 9日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
12月13日	一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月18日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月18日	12 月定例会議　最終日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月19日	教育民生常任委員会視察研修	○	○	－	○	－	○	－	－	○	－	－
12月26日	庁舎統合建設特別委員会	×	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
1月10日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－
1月15日	教育民生常任委員会	○	○	－	○	－	○	－	オ	○	－	－
1月16日	全員協議会（議員）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月16日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
1月21日	議会運営委員会	－	－	－	○	○	－	－	オ	○	△	○
1月24日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
1月31日	全員協議会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

議会運営委員会

―11月25日開催―

▶定例会議議案
▶陳情書
▶議会費の令和２年度当初予算などについて協議

―１月21日開催―

▶３月定例会議日程など協議

議会・行革・活性化特別委員会

―11月11日開催―

▶子ども議会、議会報告会について協議

―11月21日開催―

▶議会報告会について協議

―11月29日開催―

▶子ども議会について協議

―１月16日開催―

▶議会報告会について協議

―１月24日開催―

▶議会報告会について協議

議会広報特別委員会

―11月７日開催―

▶とびら第21号の表紙選定や掲載内容を確認

―１月10日開催―

▶とびら第22号の掲載内容を協議し誌面の役割分担を行う

突撃インタビュー

≪中能登町民生児童委員　会長・副会長の皆さん≫

議会広報特別委員会　委員長　林　真弥　　副委員長　古玉いづみ

【質問項目】

①在任年数と思い出深いできごとは？
②大変な事やつらい事は？
　逆に喜びや嬉しい事、楽しい事は？
③なり手不足をよく耳にするが？
④令和時代の民生児童委員のあり方について

左から甲部副会長、高野会長、須鹿副会長

【高野渡　会長】４年目（２期目）

①倒れていたおばあちゃんを発見し、救急車を呼んで事なきを得たことがあるが、本人と家族から感謝された。地域の安全安心の手助けができている実感はある。
　よろず相談所かなと思っている。
②時として自分の感情を抑えなければならない。身近な相談者として頼りにされていると感じるが、信頼関係を築くまでが難しい。
③私生活に影響があるのではと抵抗感をもつのではないか。区長や町内会長が兼任している地区が多々あり、人材を育てるシステムを町主導で整備してほしい。
④世代間の繋がりや地域の繋がりの大切さを、次の世代に伝えていく責任感が必要だ。
　若い世代を育てていくにあたっては、決して芽を摘んではならない。
　町を歩いて自分の足で情報を得る手法には個人差があるが、地域をこまめに歩いて地域の実情を知ることが一番大切だと思う。

【須鹿等　副会長】７年目（３期目）

①９人の地域推進委員で地域を見守っているので、自分には大きな負担はない。
②つらいと感じることはない。配食サービスなどで喜んでいただけることが嬉しい。
③＝３人共同じ＝
④＝３人共同じ＝

【甲部米造　副会長】10年目（４期目）

①10年目に入ったが、毎日が充実している。消防士として40年間勤務したが、人命に関われることに誇りをもっている。検視に立ち会ったこともある。
②お年寄りとの会話やコミュニケーションをとることで、家族のような関係を築くことができ楽しい。男性より女性の方が話をしやすい（笑）
③＝３人共同じ＝
④＝３人共同じ＝

【インタビューを終えて】

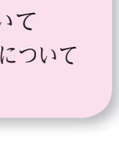
３人の方からお話しを聞き、中能登町並びに地域の安全安心のために自分たちに出来る事があれば何でも引き受けますという、強いボランティア精神を伺うことができました。
今後益々の課題となるであろうなり手不足についても率直な意見を述べられ、民生児童委員のみならず、町を下支えする人材育成システムの整備構築に向けて、町当局と共に取り組む必要性を改めて痛感した次第です。　　議会広報特別委員会委員長　　林　真弥

議会からのお知らせ

３月定例会議の日程

３月５日㈭ 10：00　定例会議　開議
　〔議案上程・提案理由説明・質疑など〕
３月６日㈮ 10：00　教育民生常任委員会
　　13：30　総務建設常任委員会
３月９日㈪ 10：00　予算決算常任委員会
３月10日㈫ 10：00　予算決算常任委員会
３月11日㈬ 10：00　予算決算常任委員会
３月12日㈭ 10：00　予算決算常任委員会
３月16日㈪ 10：00　一般質問
３月17日㈫ 13：30　一般質問（予備日）
３月19日㈭ 13：30　全員協議会
　　15：00　定例会議 最終日
　〔委員長報告・質疑・討論・採決〕

ぜひ傍聴にお越しください。定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。



全国町村議会議長会表彰　創立70周年記念表彰

永年、地方自治に貢献した自治功労議員として下記の議員が表彰されました。

町議会議員として30年以上在職
　作間　七郎　議員（福田）
　坂井　幸雄　議員（良川）

ようこそ中能登町議会へ

11月21日に、中能登町へ他市町議会から視察に訪れていただきました。

★新潟県田上町議会
●地域おこし協力隊の活動状況について
●道の駅における地域公共交通導入の経緯について
●地域公共交通の運営について

レポート提出します

10月随時会議議員派遣

報告者：笹川　広美
期　間：令和元年11月18日～19日
場　所：全国市町村国際文化研修所
研修名：令和元年度第２回市町村議会議員特別セミナー

今回のセミナーでは、各分野の先生から、わがまちの未来と地方議員に求められる役割について、様々な観点からの講義がありました。中でも、『地方創生』とは、「人口が増えなくても美しく文化があることが自治体の格を決める」と考え、安心して暮らし続けていける仕組みを住民参加でつくること。そして、議会とは「住民の広場」、地方議員には「地域づくりの専門家」としての役割が期待されているとの内容は、とても共感を覚えました。地方創生の第２期（2020～24年度）に向け、議員としての役割を果たせるよう今回の学びを活かして行きたいと思います。

12月定例会議議員派遣

報告者：林　真弥
期　間：令和２年１月22日～23日
場　所：全国市町村国際文化研修所
研修名：自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～

少子高齢化と人口減少に伴い全国の自治体では、特に地方の自主財源に乏しい市町では、今後益々の緊迫財政が叫ばれています。そのような時代に入り、正に自主財源に乏しい中能登町はどのような財政運営を行えばこの難局を乗り切れるのか。これが今研修に参加した私の趣旨でありました。講義では正直なところ不慣れな専門用語が飛び交い、少し戸惑った時間もありましたが、参加者約150人を25班に分けて行った班演習では、全国から集まった初対面の市町議員たちと自分たちの市町の現状を語り合い、互いに鋭く指摘し合うという場面もあり緊張感漂う時間もありました。その中でのＦ県Ａ市議員の言葉を忘れることができません。「あなたの町は大丈夫ですか」この言葉にどのような意味があるのか。来年度予算は勿論、今後、町の財政運営には、より厳し目で臨むことをお伝えして研修報告と致します。

ありがとうございます

―家族の声―

在江にお住まいの
加賀さんご一家

①中能登町の魅力・誇れる所は?
特に子育て支援がいくつもあり、
若者が定住しやすい環境だと思います。

②子どもたちが頑張っていることを教えて下さい。
英語と部活動（サッカー）と少林寺拳法です。

③３世代同居の良さは？
夫婦が共働きなので、祖父母に子供たちの食事や送迎のサポート等で大変助けられています。

④最後に、未来の中能登町へ一言。
これまでの暮らしに大きな不満がないので、これからも変わりなく
暮らしていける故郷であってほしいです。

家族の声 募集中!

議会をよりわかりやすくPart 5

視察・研修はどう活かされているの？

視察

- 議会全体視察 …… 地方行政の先進地で当町と同じ様な規模の町議会を視察します。
- 常任委員会視察 …… 総務建設と教育民生に分かれてより専門的な取り組みを行う先進地へ視察します。
- 議会運営委員会視察 …… 議会基本条例や議会改革等の取り組みを視察します。

研修

- 個人研修 …… 各議員の研修・調査研究活動のための派遣です。
  議長へ計画書を提出し議会での議決をもって派遣が決定します。
  交通費は予算内で往復分・宿泊費は最大１泊分・日当は最大２日分支給され、１人年１回受けられます。
- 広報研修 …… 広報委員会の委員が参加します。１年おきに東京都と石川県とで開催され東京では委員長・副委員長のみ参加します。

⇨ 全ての視察・研修では参加議員全員の報告書が提出され、視察や研修で学んだ事は議会において一般質問で執行部に提案されたり、議員協議会で議論を行い新たな取り組みとして取り入れられます。

【議会広報特別委員会】
委員長　林　真弥
副委員長　古玉いづみ
委員　諏訪　良一
笹川　広美
土本　稔
尾田　良一

編集後記

2020年、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックイヤーの幕開けです。若人の祭典を今から楽しみにしていますが、でも何か変じゃないですか？北陸の冬なのにあまり寒くない。雪が全くと言っていいほど降らない。去年もほとんど雪は降っていません。

これって大丈夫なの？

地球温暖化や気候変動による災害が地球規模で多発していますが、私たちは後世に住み良い地球を、きれいな日本を残せるのでしょうか。いや、何としても残さなければいけない。そんな思いを抱きながら「とびら」第22号の編集を終えました。

議会広報委員長　林　真弥

〒929-1792 石川県鹿島郡中能登町末坂９部46番地（鳥屋庁舎２階）
TEL 0767-74-2808 FAX 0767-74-2818

この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会